

地域在住高齢者の「通いの場」を活用したフレイル予防対策

看護学科

柴田 亜希 准教授

【研究分野】 公衆衛生看護学、地域看護学、公衆衛生学
 【キーワード】 フレイル、通いの場、ヘルスプロモーション
 【URL】 <https://researchmap.jp/shibata-aki/>



研究概要

急速な高齢化が進展する我が国において、高齢者の健康増進を図り、健康に長生きできるよう健康寿命を延伸することが重要な課題となっています。高齢者は、身体的脆弱性や複数の慢性疾患、認知機能や社会とのつながりの低下といった、多様な課題と不安、いわゆるフレイル状態になりやすいという特徴がある反面、フレイルは改善することが可能でもあります。フレイル予防対策を推進するにあたり、健康な高齢者も含めた幅広い対象にアプローチすることが重要であり、そのため近年広がりを見せている「通いの場」を活用した取組みに期待が寄せられています。

「通いの場」活動など、住民が主体となっていく健康づくりを支援することにより、誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進に寄与できるような研究に取り組んでいます。

研究紹介

1. 「通いの場」活動の健康寿命延伸への寄与に関する研究

KDB（国保データベース）を活用した、「通いの場」における活動が骨折や要介護状態への進展といった健康寿命に及ぼす影響の検討

2. フレイルの早期介入支援の検討

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を活用した、フレイルの社会的側面からみた介入可能な要因の検討

3. 「通いの場」の継続運営のための課題解決に向けた支援

インタビュー調査による、「通いの場」が抱える運営上の課題の明確化と課題を解決するために必要な支援の検討

講座テーマ紹介

- ・住民の健康づくり活動の評価
- ・対人支援スキルの獲得に向けた専門職向けの講座

アピールポイントなど

地域を取り巻く環境の変化とともに、健康課題も複雑化・多様化する中、すべての人が安心して暮らせることを目指して、地域住民の健康づくりに関する研究を行っています。そして、地域住民や地域で活躍する支援者の皆様に役立つような実践的な研究を目指しています。

自治体の健康づくり推進協議会の委員や健康増進計画のオブザーバーとして関わらせていただいております。